

令和8年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立郷原小学校
(郷原中学校区)

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	+5.1	+3.6
令和7年度	+2.2	-1.0
令和6年度	+2.3	+2.6
令和5年度	+0.8	+0.5
令和4年度	-0.6	-5.2

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎・・・各学校 ◇・・・中学校区

国語 言葉の特徴や使い方 読むこと 情報の扱い方 話すこと・聞くこと 書くこと 全国平均 (点線) 県平均 (実線) 本校 (点線) 本校 66.0% 全国 60.9% 県 64.0%	重点課題 ◎叙述や表現の工夫に着目して内容を深く読み取ること課題がある。(設問12(3))【言葉の特徴や使い方に関する事項】(本校の平均正答率65.2%)(全国平均との差±0%) ◇記述で答える問題において、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。(設問24)【書くこと】(本校の平均正答率39.1%)(全国平均との差+5.6%) 改善の方策 ◎読み取りの文章問題を解いたり教材を学習したりする中で、文章中の表現や工夫に着目し、「なぜその表現を使ったのか」「どのような効果があるのか」等を根拠となる言葉や表現を基に考える活動を充実させる。 ◇読書や短文づくり等の活動を取り入れ、語彙を豊かにする。また、つなぐ言葉に注意して文章の構成を捉えることができるように、大事なところに線を引きながら読んだり、要約したりする活動を取り入れる。 検証 ◎◇標準学力学習状況調査(12月)の【言葉の特徴や使い方に関する事項】の項目の正答率の全国平均を上回る。(全学年) ◇令和8年度全国学力調査問題(設問24)(第6学年12月) 目標 第6学年70%→結果 第6学年 %
算数 数と計算 図形 データの活用 変化と関係 測定 全国平均 (点線) 県平均 (実線) 本校 (点線) 本校 60.0% 全国 56.4% 県 58.0%	重点課題 ◎◇図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述することに課題がある。(設問1(4))【数と計算】【図形】【データの活用】(本校の平均正答率39.1%)(全国平均との差-6.1%) ◎帯グラフの特徴と用い方を理解し、およその割合を読み取ること課題がある。(設問4(4))【データの活用】(本校の平均正答率60.9%)(全国平均との差-14%) 改善の方策 ◎◇示された条件を正しく読み取り、それを基に調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できるようにするために、問題場面を適確に把握し、条件に沿った答え方で説明する活動を取り入れていく。 ◎帯グラフの特徴と用い方を理解し、およその割合を読み取ることができるように、何%という答えだけでなく根拠をもって子どもたちが説明するような場面を増やしたり、表現したりする時間を確保する。 検証 ◎◇令和8年度全国学力調査問題(設問1(4))(第6学年12月) 目標 第6学年70%→結果 第6学年 % ◎◇令和8年度全国学力調査問題(設問4(4))(第6学年12月) 目標 第6学年80%→結果 第6学年 %

【来年度に向けて】